

令和6年度学部卒業生への式辞

学位記授与式式辞

令和6年度数学・数理解析専攻長
清水扇丈

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

厳しい入学試験に合格し迎えた入学1年目はコロナウィルス感染症の真っ只中で、オンライン中心の講義が続きさまざまな活動が制限されていました。2回生の後半から徐々に平時に戻り、講義や演習を教室で学友と一緒に受けられるようになりました。本日、うららかな春のよき日に、困難を乗り越え晴れて卒業を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

数学という学問は、皆さんのが数理科学系で学ばれてこられたように、理解ができたときの喜びは他に代え難い一方で、基礎からの積み重ねの上に成り立ち、静謐な思考を要し、時に理解に多大な時間がかかる厳しい学問です。今日まで積みあげてこられた研鑽と精進に敬意を表します。

コロナウィルス感染症という未曾有の事態に世界中が見舞われました。今後もこのように想定されない事態が生じる可能性があり、不可知なことに対応する能力が要求されます。AIとりわけChat GPTの台頭は目覚ましいものがありますが、これらにはこれまでのデータの蓄積はあっても、どの情報を選ぶかは一人一人の思考によります。皆さんのが培ってきた数学的思考や科学の知識に基づき、正しい情報を選び、物事の本質を見抜いてください。身近なところを大切にするとともに、世界にも目を向け、各人の視点で創造的に困難に対処し、自身の強みを活かして新たな世界を切り開いていって欲しいと思います。

就職される方々におかれましては、近年、高度な数学や数学的な考え方方がこれまで以上に実社会から要求されています。学生時代とは異なる困難が生じる場面があるかもしませんが、数学の技能を活かし社会に貢献されますよう願っております。進学される方々におかれましては、今後より一層数学を深く究められますことを期待しております。

京都大学理学部数理科学系で学ばれたことは素晴らしい財産です。皆さんにはこれから輝かしい未来が待っています。京都大学理学部数理科学系を卒業されたことを、心の礎として、また糧として、今後ますますご活躍されることを祈念しております。本日はご卒業、誠におめでとうございます。